

留学報告書～瀋陽師範大学に留学して～

北海道教育大学教育学部
地域協働専攻国際協働グループ
4年 逢坂香穂子

私は2017年8月から2018年7月までのおよそ11か月間、中国遼寧省瀋陽市にある瀋陽師範大学に留学しました。大学1年の頃に参加した瀋陽師範大学の2週間短期留学プログラムに参加したことをきっかけに、さらに中国語を学びたい、中国の文化に触れてみたいという気持ちが生まれ、一年間の交換留学を決めました。出発前は不安でいっぱいでした。旅行は好きだったのですが、海外に旅行に行くことと、一年間現地で生活をするとは何かかもが異なると思ったからです。治安はどうなのだろう、衛生面に問題はないだろうか、現地の食事に慣れることはできるだろうかなど様々な不安で頭がいっぱいでした。

しかしいざ到着してみると、師範大学の先生方が暖かく迎えてくださり、授業の仕組みや寮の説明、大学構内の案内等をしてくださいました。そして幸いなことに、私より半年ほど早く留学に来ていた先輩や、同時期に留学を開始した友人数人がいました。日本人がいないほうが語学習得には有利であるという考えもあると思いますが、当時新しい環境に若干怯えていた私にとって、日本語で何でも相談することができる存在がいることは精神的に非常にありがたかったです。



図 1 瀋陽駅



図 2 國際教育學院の文化交流会

授業は国際教育学院という留学生のための学院があって、中国語のレベルごとにくつかのクラスに分かれて平日の午前中4コマ分勉強しました。午後も中国の地理や概要、文化体験等の授業がありましたが、これらは選択制なので履修は自由でした。ここで驚いたのは留学生の多さです。毎年300人程の留学生を募集しているということで、世界各国からやってきた留学生と知り合うことができました。留学生同士の文化交流を目的としたイベントも行われ、中国だけではなく多種多様な国の文化まで知ることができて楽しかったです。

中国に留学する際に留意すべきことは、ネット規制についてだと思います。私たちが日常的に使用している LINE や Instagram、Google、YouTube 等は基本的に利用できませんでした。中国に出発する前に中国版の LINE とも言える WeChat をダウンロードし、必要であれば VPN を購入しておくことをおすすめします。他には、現在中国ではキャッシュレスが進んでいて、現金はほとんど使わないようになっているのですが、このシステムを利用するにあたって中国の銀行口座が必要になるので、到着したらまず初めに銀行口座を開設しに行ったほうがいいと思います。開設方法などは大学の留学生担当の先生に聞いてみると色々教えてくれます。

中国語で最低限の日常生活ができるレベルになるまで、相手の言っていることが分からなかったり、外に出るのが嫌になったりと、思い通りにできない自分に苛ついてしまうことも多々ありました。でも諦めずにコツコツ努力をしていけばそれを見ていてくれて評価してくれる人が必ず現れます。いつのまにか大切な友達もできていて、内向的な自分の性格が少し変わったような気がしました。

ある程度言語ができるようになれば気持ちにも余裕が出てくるので、他の都市へ旅行に行ってみることをおすすめします。やはり中国はとても広いので、その土地によって雰囲気、気候、方言などが異なります。せっかく外国に滞在するのなら、自分の暮らす街だけではなく他の地域を訪ねて見聞を深めるのがいいと思います。



図 3 旅行で行った上海の夜景

留学中は瀋陽師範大学の先生方に大変お世話になりました。日常生活で困ったことがあるとどんなささいなことでも助けていただきましたし、学習に対する不安や悩みなどの相談にも乗っていただきました。協定校ならではの行事にも参加させていただき、人生において非常に貴重な経験をすることができました。留学先に瀋陽師範大学を選んで本当に良かったと思っています。素敵な経験と出会いをありがとうございました。



図 4 友人とピクニック



図 5 瀋陽故宮